

7. ダムについて

(1) 丹生ダム、大戸川ダムの建設の推進について

個々のダムの必要性についての見直しは、これまでの経緯、さらには経過の中で、地元合意を踏まえ人家移転が行われる等、既に地元に対し少なからず生じている行政責任を十分踏まえたうえで、多くの関係者が納得できるよう慎重に対応してください。

このような中、既に事業実施中の丹生ダム、大戸川ダムの両ダムについては、貴局もご指摘のように姉川（高時川）・大戸川の洪水被害の軽減を図るとともに、淀川水系全体の利水安全度向上のためにも必要なものであることから、今後も総合的な判断のもとに建設されるべきものと考えております。

(2) 丹生ダムについて

丹生ダムに関し、「琵琶湖における急速な水位低下が生態系に及ぼす影響を軽減するための容量の確保の検討」とされていますが、その内容は定かではないものの、これに関する本県の考え方は次のとおりです。

- ①異常渇水対策のための容量確保の目的は、これまで説明いただいていたとおり、ダムの統合管理が行われている淀川水系全体の上水道用水・工業用水の給水制限の軽減とともに、淀川の生態系の悪化を防止することにあるべきこと。
- ②治水とあわせ、こうした異常渇水対策のための容量を確保する丹生ダムは、淀川水系全体にとって、これまで説明いただいていたとおり、必要であること。
- ③このため、その費用負担についても、これまで説明いただいていたとおりとすること。

(3) ダムの計画内容の見直しについて

ダム計画内容の見直しがあげられていますが、このことに関して滋賀県及び地元に対して、いささかも支障を生じることがないようにすべきです。

4. 6. 3 各ダムの整備の方針（p27 中欄 1行目）

ダム計画の方針に基づき、各ダム毎に以下の事項を踏まえて計画の内容を見直す。

(2) 大戸川ダム

大戸川等における洪水被害の軽減を図る。
利水について、水需要を精査、確認する。
その上で、必要に応じて他ダムとの容量再編を検討する。

(4) 丹生ダム

滋賀県と調整し姉川の洪水被害の軽減を図る。
琵琶湖における急速な水位低下が生態系に及ぼす影響を軽減するための容量の確保を検討する。
利水について、水需要を精査、確認する。

以上、主要な意見を申し述べましたが、今後も淀川水系河川整備計画策定作業の進捗にあわせて意見を申し述べることを申し添えます。

淀川水系河川整備計画策定にむけての説明資料(第1稿)に対する意見等

ページ	欄	行	説明資料(第1稿)の文章	滋賀県の意見
全体				琵琶湖工事事務所の説明では、「河川整備計画決定過程の透明性を確保したい。」とのことであった。については、どのような淀川水系流域委員会提言や住民意見を、どの部分に反映したのかが分かる補足資料の作成が必要と考えます。
2	中	9	従って、流域的視点に立って、流域のあらゆる関係者が連携協力し、健全な水循環系の確保に向けた努力を積み重ねることを前提に、以下を基本に据えて淀川水系の河川整備計画を策定する。	流域のあらゆる関係者が連携協力することを前提に策定となっているが、どのような手法により連携協力を図っていくかと想定されているのか、明らかにしてください。
2	中	17	また、利水者や関係自治体と連携し、水需要の抑制を図る。	「水需要の抑制」よりも「節水」が適切と考えます。については、「関係利水者や関係自治体と連携し、節水へ向けた取り組みを行う。」に改善してはどうか。
2	中	12	従って、流域的視点に立って、流域のあらゆる関係者が連携協力し、健全な水循環系の確保に向けた努力を積み重ねることを前提に、以下を基本に据えて淀川水系の河川整備計画を策定する。この際、既存の計画にとらわれることなく、柔軟に見直しを行う。	「既存の計画にとらわれず」とされているが、これまでの経過を踏まえ、すでに地方公共団体や地元住民に対し、これまでの計画に基づき、相当の行政責任が生じていることを十分認識し、責任ある対応が必要と考えます。
2	中	下11	洪水被害の頻度のみならず、その深刻さを軽減する施策をハード、ソフト両面にわたって推進するが、狭窄部下流の治水安全度を損なわないで上流の安全度の向上を図る。	「狭窄部下流の治水安全度を損なわないで、上流の安全度の向上を図る」とされているが、琵琶湖治水事業の効果を発揮するため、瀬田川下流の治水対策の推進を一層精力的に進めてください。
2	中	下8	また、利水者や関係自治体と連携し、水需要の抑制を図る。	「水需要の抑制を図る」とされているが、具体的にどのようなことを考えておられるか、明らかにしてほしい。
3	中	下から4	また、関係省庁、自治体等と連携が必要となる事項については、……地域住民にその連携施策の妥当性の判断材料を提供する。	地域住民とはどの範囲を意味しているのか、明らかにしてください。
3	中	4	本計画では、淀川水系の指定区間外区間(大臣管理区間)を計画対象とする。ただし、計画策定上必要となるその他の区間、流域についても言及する。	「計画策定上必要となるその他の区間、流域にも言及する」とされていますが、琵琶湖に係ることについては、管理者である滋賀県知事と十分協議してください。
3	右	下3	本整備計画の実施に当たっては、琵琶湖・淀川流域水質管理協議会(仮称)や、洪水被害ポテンシャル低減対策協議会(仮称)等の場において、相互に連携した総合的な取り組みを検討	「琵琶湖・淀川流域水質管理協議会(仮称)」や「洪水被害ポテンシャル低減対策協議会(仮称)」とはどのようなメンバーでどのような業務を想定されているのか、明らかにしてください。
5	中	2	ダム・砂防などの横断工物における土砂移動の連続性を確保するための方策を講じ、…	「土砂移動の連続性を確保するための方策」とは具体的にどのような方策が想定されるか、明らかにしてください。
5	中	8	横断方向においては、堤防の緩傾斜化や高水数から水辺への形状をなだらかにするための高水数の切り下げや生物の生息・生育環境に大切な水辺移行帯を設けるなど良好な水辺の再生を図るため、水際の改善を行う。	「横断方向」の改善について、琵琶湖の場合、「高水数の切り下げ」や「水辺移行帯の整備」とはどのようなものが想定されているのか、明らかにしてください。 また、特に知事管理区間については、滋賀県知事と十分協議してください。
5	右	18	(2)横断方向の河川形状の修復 1)横断方向の河川形状の修復の実施 ③水辺移行帯 ○ 瀬田川 名神高速下流～瀬田川洗堰区間 ○ 琵琶湖 家棟川地区 2)横断方向の河川形状の修復の検討 ②水辺移行帯○ 野洲川 河口部 ④内湖、湿地帯○ 琵琶湖 調査・試験施工	横断方向として、水辺移行帯として「瀬田川名神高速下流～瀬田川洗堰区間」および「琵琶湖 家棟川地区」が「修復の実施」、「野洲川河口部」が「修復の検討」、また、内湖湿地帯として「琵琶湖」が「調査試験・施工」となっているが、どのようなものが想定されているのか、明らかにしてください。 また、特に知事管理区間については、滋賀県知事と十分協議してください。
5	右	18	(3)縦断方向の河川形状の修復 縦断方向の河川形状の修復の検討○ 野洲川 落差工	2) 縦断方向として、「野洲川落差工」が「修復の検討」とされ、また「瀬田川洗堰」「天ヶ瀬ダム」が「既設ダムの魚類の遡上・降下に配慮した構造改善の検討」があげられているが、どのようなものが想定されているか、明らかにしてください。
6	左	7-8	琵琶湖では、水位低下する頻度が増大しており、これがニゴロブナの産卵に影響を与えている恐れがある。	「琵琶湖では、水位低下する頻度が増大しており、これがニゴロブナなど沿岸水域で繁殖する生物に大きな影響を与えている恐れがある。」に改善提案します。
6	中	14	4.2.3水量 できるだけ自然流況に近い流量が流れるように、治水・利水への影響を考慮した上で、ダム・堰等の運用を改善し、水位変動や擾乱の増大等を図るための検討を行う。淀川大堰下流においては、汽水域の環境を考慮し、必要な維持流量を検討する。	検討にあたっては、水量確保などについて、利水者・河川管理者・自治体・関係機関・住民などみんなが連携して考えていく場を設けることが望ましいと考えます。
6	右	15	(1)平常時に低い水位を維持するとともに出水変動に応じた水位操作を試行	琵琶湖の水位管理は、平成3年12月2日付け滋賀県琵琶湖水政審議会意見のとおり「可能な限り水位変動を抑制することを基調としつつ、住民生活や産業活動、生態系・自然景観等に対する影響を十分考慮した水位操作」としてください。 1 / 7 ページ

ページ	欄	行	説明資料(第1稿)の文章	滋賀県の意見
6	中	下から5行	できるだけ自然流況に近い流量が流れるように、………水位変動や攪乱の増大等を図るための検討を行う。	河川流量を確保・設定する場合には、関係利水者(既得権者)に負担を被らないよう十分調整することが必要です。
6	中	8	堰の水位操作の見直しに際しては、生態系などの調査を実施し、問題点など実態を把握のうえ、試験運用を行いながら、モニタリング及び評価を実施する。	「水位操作の見直しに際しては、生態系などの調査を実施し、問題点など実態を把握の上、試験運用を行い、モニタリング及び評価を実施する」とありますが、どのような調査や試験運用等を実施しようとしているのか、また、既に実施されている調査についての現段階での状況を明らかにしてください。 また、これについては、洗堰操作規則制定の経過を踏まえ、滋賀県と十分に協議してください。
6	中	下9	特に琵琶湖については、治水・利水への影響を踏まえた上で、琵琶湖周辺の環境を考慮し、生物の生息・生育環境を保全及び再生するための水位操作について検討する。	琵琶湖の水位管理は、平成3年12月2日付け滋賀県琵琶湖水政審議会意見のとおり「可能な限り水位変動を抑制することを基調としつつ、住民生活や産業活動、生態系・自然景観等に対する影響を十分考慮した水位操作」としてください。
6	右	下10	(2)生物の生息・生育環境を保全及び再生するための水位操作の検討○ 瀬田川 瀬田川洗堰	琵琶湖の水位管理は、平成3年12月2日付け滋賀県琵琶湖水政審議会意見のとおり「可能な限り水位変動を抑制することを基調としつつ、住民生活や産業活動、生態系・自然景観等に対する影響を十分考慮した水位操作」としてください。
6	右	下5	(1)水位変動や攪乱の増大を図るための、ダム・堰の運用に関する検討及び試験運用の実施○ 瀬田川・宇治川 瀬田川洗堰、天ヶ瀬ダム	「水位変動や攪乱の増大を図るためのダム・堰運用の運用に関する検討及び試験運用」の「実施」を「瀬田川洗堰」でされるとは、どのような内容が明らかにしてください。 このことが、琵琶湖の治水、利水、生態系、景観へどのような影響があるのか、明らかにしてください。 特に、琵琶湖治水や大量放流に関係すると思われるエリへの影響についてはどう考えるか、関係者(エリ業者など)にはどう説明するのかを、明らかにしてください。 また、これについては、瀬田川洗堰操作規則に係る経過も踏まえ、滋賀県と十分に協議してください。
7	左	下から7行目	琵琶湖では昭和62年3月に………その結果、アオコや淡水赤潮が発生している。	湖沼水質保全計画では、汚濁負荷量については下水道の進捗等により着実に削減がなされてきているものの、水質向上には必ずしも反映されていない。この原因として、面源からの汚濁負荷の増加の可能性等も考えられるが、本文中の「流入負荷の増大により計画目標値を満足するに至っていない」とする具体的根拠は何か。また、近年、淡水赤潮発生は減少傾向にあり、アオコについては、構成種が変化しつつ継続的に発生をみている現状について、前段を受けて「その結果……発生している」とする具体的根拠についても併せて示してください。
7	左	下から5	農地からの濁水による汚濁負荷(略)～その結果、アオコや淡水赤潮が発生している。	「農地からの濁水による汚濁負荷の対策の遅れ(中略)による流入負荷の増大」とする具体的根拠を示してください。 また、このことよって、「計画目標値を満足するに至っていない」とする具体的根拠を示してください。根拠が明確でない場合は、これらの表現を削除してください。
7	中	1	また瀬田川洗堰・天ヶ瀬ダムの下流においては、洪水のあと急激な水位低下が生じないような運用操作を検討した上で、実施する。なお、河川の攪乱機能の復元に向けた試験放流において、モニタリング及び評価を行う。	「瀬田川洗堰・天ヶ瀬ダムの下流」において「洪水の後急激な水位低下を生じないような運用操作とは、洪水時において速やかに琵琶湖の水位を下げることに支障がないようにしてください」。 また、これについては、洗堰操作規則制定の経過を踏まえ、滋賀県と十分に協議されたい。
7	中	3	また瀬田川洗堰・天ヶ瀬ダムの下流においては、洪水のあと急激な水位低下が生じないような運用操作を検討した上で、実施する。なお、河川の攪乱機能の復元に向けた試験放流において、モニタリング及び評価を行う。	「河川の攪乱機能の復元に向けた試験放流」とはどのようなものか、瀬田川洗堰に関するのであれば、琵琶湖水位との関係はどうか明らかになってください。 また、これについては、洗堰操作規則制定の経過を踏まえ、滋賀県と十分に協議してください。
7	右	下10	(1)水位変動や攪乱の増大を図るための、ダム・堰の運用に関する検討及び試験運用の実施○ 淀川 淀川大堰○ 瀬田川・宇治川 瀬田川洗堰、天ヶ瀬ダム (3)下流における急激な水位低下が生じないダム・堰の運用操作の実施 ○瀬田川・宇治川 瀬田川洗堰、天ヶ瀬ダム	「水位変動や攪乱の増大を図るためのダム・堰の運用に関する検討および試験運用の実施」下流における急激な水位変化が生じないダム・堰の運用操作の実施」に瀬田川洗堰があげられているが、どのような内容が明らかにしてください。 これが、琵琶湖の治水、利水、生態系・景観上の支障が生じないようなものとすべきである。 また、これについては、洗堰操作規則制定の経過を踏まえ、滋賀県と十分に協議してください。

ページ	欄	行	説明資料(第1稿)の文章	滋賀県の意見
7	中	下3	なお、下水排水や汚濁流入支川を本川と分離して流す流水保全水路については、既存施設において分離の効果などについて引き続き調査、検討を行う	「流水保全水路」と淀川の維持流量とはどういう関係になるのかを明らかにしてください。
7	右	6	(3)下流における急激な水位低下が生じないダム・堰の運用操作の実施 ○瀬田川・宇治川 瀬田川洗堰、天ヶ瀬ダム	「下流における急激な水位低下を生じないダム・堰運用の運用操作」の「実施」とは、どのような内容が明らかにしてください。 また、このことにより、琵琶湖治水の問題、大量放流に関係すると思われるエリへの影響について支障を生じないようにする必要があります。 また、瀬田川洗堰操作規則に係る経過も踏まえ、滋賀県と十分に協議してください。
7	右	8	(1)下記の事項について、検討、実施する自治体、関係省庁、住民代表から構成される琵琶湖・淀川流域水質管理協議会(仮称)の設立の検討	琵琶湖・淀川流域水質管理協議会の位置づけ、権限の根拠(負荷総量管理など)、水濁法の既存制度との関係を明らかにしてください。また、構成員に、事業者を加えていかがでしょうか。
7	右	下18	(2)琵琶湖の水質保全対策 1)水辺移行帯(内湖・湿地を含む)復元のための調査・検討・試験施工の実施 2)家棟川ピオトープ整備及びそのモニタリングの継続実施	「琵琶湖の水質保全対策」の施策として上げられている「水辺移行帯(内湖・湿地を含む)復元のための調査・検討・試験施工の実施」、「家棟川ピオトープ整備及びそのモニタリングの継続実施」とはどのような内容か、明らかにしてください。 また、5-2-1(P5)には、「内湖・湿地帯」で琵琶湖 調査・試験施工の「検討」があげられていますが、これとの関連も明らかにしてください。 特に、知事管理区間については、河川管理者である滋賀県知事と十分協議してください。
8	左	下から9行目	また、琵琶湖では、5月～7月頃にかけての水位低下が、ニゴロブナ等の産卵に支障を与えている恐れがある。近年、アユの冷水病等、魚類の罹病が多発している。	生態系の問題では、外来魚の大繁殖と在来魚減少が大きな問題となっているため、次のように修文してはどうか。「琵琶湖では、水位低下が湖岸水域で産卵繁殖する生物の繁殖などに支障を与えている。また近年、オオクチバスやブルーギルが大繁殖して在来魚などを食害し固有種が大幅に減少している。」
8	中	下から7行目	また、河川の横断方向及び縦断方向に連続性を持った水辺の生息・生育環境を確保するとともに、生物に配慮した水位管理や水量管理を検討する。	検討にあたっては、水量確保などについて、利水者・河川管理者・自治体・関係機関・住民などみんなが連携して考えていく場を設けることが望ましいと考えます。
8	右	下3	(2)固有種・在来種・希少種の生息・生育環境の保全及び再生 (5.2.1 河川形状、5.2.2 水位、5.2.3 水量にて掲載) 1)生息・生育環境の保全及び再生の実施①フレンド・たまり②淀川 城北地区、豊里地区 (他、5.2.1再掲)②ヨシ原 (5.2.1再掲)③水辺移行帯 (5.2.1再掲) [以下、5.2.1部分] (2)横断方向の河川形状の修復 1)横断方向の河川形状の修復の実施 ③水辺移行帯 ○瀬田川 名神高速下流～瀬田川洗堰区間 ○琵琶湖 家棟川地区 2)横断方向の河川形状の修復の検討 ②水辺移行帯○野洲川 河口部 ④内湖、湿地帯○琵琶湖 調査・試験施工	「水辺移行帯」で「5.2.1再掲」となっているが、「5.2.4」に上げられている事業とのとの関連はどうか、明らかにしてください。 特に、知事管理区間については、河川管理者である滋賀県知事と十分協議してください。
11	中	2	破堤による被害の回避を究極的な目標として...	破堤による被害の回避を究極的な目標とするとの考えは、事業の優先順位を定める上で、「有堤区間の強化」>「無堤区間」となるのか。とりわけ、大津放水路二期区間の河川は、「無堤河川であるため、優先順位が低い」と解するの
11	中	4	破堤による被害の回避を究極的な目標として、そのための施策に最優先で取り組むが、狭窄部上流の浸水被害、琵琶湖沿岸の浸水被害等の軽減に向けた整備を行う。	「琵琶湖沿岸の浸水被害の軽減に向けた整備を行う」とはどのような内容が明らかにしてください。 また、河川管理者である滋賀県知事との関係はどのように考えているのか、明らかにしてください。
11	右	下8	③洪水情報伝達・情報の提供 ○浸水想定区域琵琶湖沿岸の浸水想定区域の指定・公表	「琵琶湖沿岸の浸水想定区域の指定・公表」について、滋賀県と十分協議してください。
13	右	6	5章具体の整備内容-5.3治水・防災-5.3.1洪水-2)被害ポテンシャル低減対策 ③流域内保水機能、貯留機能強化	森林の保全、整備により流域内保水機能、貯留機能強化を図れる観点から、森林の保全、整備について、追加記載をお願いします。
14	右		河川毎の施設整備内容の記述	琵琶湖工事事務所の説明では、「河川整備計画決定過程の透明性を確保したい。」との説明があった。特に、個別事業箇所の明示は関心が高いと思われるため、事業箇所決定過程を明確に示すことが必要と考えます。

ページ	欄	行	説明資料(第1稿)の文章	滋賀県の意見
14	中	11	(2) 浸水被害の軽減 ① 狭窄部上流の浸水被害の解消 狭窄部上流の浸水被害に対しては、下流堤防の破堤危険性を増大させるような狭窄部の開削は当面できないことから、既往最大規模の洪水に対する浸水被害の解消を目標として狭窄部上流における対策を検討する。長期的には、浸水被害を軽減する土地利用誘導等が望まれるが、当面の被害軽減処置としては、既設ダムの治水強化、並びに流域内貯留施設の整備を検討する。	「狭窄部上流における対策」とはどのようなものか、特に、琵琶湖、瀬田川についてはどうなるのかが明らかになってください。
14	中	11	2) 琵琶湖沿岸の浸水被害の軽減 瀬田川下流部にある狭窄部(鹿跳)、天ヶ瀬ダムの放流能力不足及び宇治川の流下能力不足により発生する長期にわたる琵琶湖の高水位による浸水被害の軽減を図るため、瀬田川下流部の流下能力(放流能力)の向上を図る。	「瀬田川下流部にある狭窄部……により発生する長期にわたる琵琶湖の高水位による浸水被害の軽減を図るため、瀬田川下流部の流下能力の向上を図る」とは、具体的にどのような内容が明らかになってください。
14	右	11	② 浸水被害の軽減 ○ 琵琶湖沿岸の浸水被害の軽減 ・塔の島地区において天ヶ瀬ダム再開発見直しの検討結果及び下流の破堤対策の進捗を踏まえて河道掘削を実施 ・新隠元橋架橋(京都府と一体施工)に合わせた引堤を継続実施 ・琵琶湖後期放流に対応するため、狭窄部に設置されている天ヶ瀬ダムの放流能力を増強するため、既存施設の改造等を含めて再開発の見直しを検討	「塔の島地区において、天ヶ瀬ダム再開発見直しの検討結果」を「踏まえて」「河道掘削の実施」、また「天ヶ瀬ダムの」「再開発の見直し」が上げられているが、天ヶ瀬ダムの見直しには治水機能も見直されるのか、明らかにしてください。 また、琵琶湖治水の効果を発揮させるため、事業の進捗に支障がないようにし、その推進をお願いします。
14	右	11	② 浸水被害の軽減 ○ 琵琶湖沿岸の浸水被害の軽減 ・塔の島地区において天ヶ瀬ダム再開発見直しの検討結果及び下流の破堤対策の進捗を踏まえて河道掘削を実施 ・新隠元橋架橋(京都府と一体施工)に合わせた引堤を継続実施 ・琵琶湖後期放流に対応するため、狭窄部に設置されている天ヶ瀬ダムの放流能力を増強するため、既存施設の改造等を含めて再開発の見直しを検討	「天ヶ瀬ダムの放流能力を増強するため、既存施設の改造等を含めて、再開発の見直しを検討」とは、具体的に何かを明らかにしてください。
15	右	7	3) 瀬田川 ① 破堤による被害の回避・軽減 ○ 堤防強化 ・応急的堤防強化延長 約1km ② 浸水被害の軽減 ○ 琵琶湖沿岸の浸水被害の軽減 ・洗堰から鹿跳溪谷までの河床掘削を継続実施 ・瀬田川下流(鹿跳溪谷地区)の流下能力の増大方法を環境、景観の観点も含めて検討	「狭窄部下流の治水安全度を損なわないで、上流の安全度の向上を図る」とされているが、琵琶湖治水事業の効果を発揮するため、瀬田川下流の治水の推進を一層精力的に進めてください。
15	右	13	4) 大津放水路① 浸水被害の軽減 ○ 浸水被害の軽減 ・大津放水路事業の一期区間(瀬田川～盛越川)を継続実施	大津放水路事業の対象流域は市街化が進み、中下流部は水害の危険性が増大しています。このため、地域特性に応じた治水対策として大津放水路事業を進めていただけてきたところです。ついでに、早期に、流域全体の浸水被害軽減を図るため、引き続き、全体区間(一期区間+二期区間)の推進をお願いします。
19	右	7	(2) 河川管理施設の機能保持 2) 河川構造物等河川管理施設(水閘門・堰・排水機場・樋門等) ① 老朽化対策の実施 ○ 瀬田川洗堰	「老朽化対策の実施」で「瀬田川洗堰」があげられているが、どのようなものかを明らかにしてください。
22	中	3	今後の水需要を利水者に確認し、厳正に吟味する。	「厳正に吟味する」を「精査確認に努める」に改善してはどうか。
22	中	15	(4) 水需要の抑制	「水需要の抑制」よりも「節水」が適切と考えます。
22	右	下から3	従来、渇水時のみ開催していた渇水対策会議を、平常時からの水利用に関する情報交換や水需要抑制についての具体的方策を協議できる組織への改正の調整	「水需要抑制」を「節水」に改善してはどうか。
22	左	2	淀川水系の水は、淀川流域以外の地域も含めて、滋賀県と京阪神の約1400万人の暮らしと経済を支えている。	「淀川水系の水は……京阪神1400万人の暮らしと経済を支えて」とあるが、淀川水系の水であれば、「三重」「奈良」を含めさらに多くの人が対象になるため修正してください。
22	中	7	(2) 水利権の見直しと用途間転用現行の水利用の実態や渇水に対する安全度(利水安全度)を踏まえるとともに、水環境維持・改善のための新たな水需要等を含め、水利権の見直し、用途間転用等の水利用の合理化に努める。	「水利権の見直しをする」とは具体的にどうするのか明らかになってください。
22	中	9	(2) 水利権の見直しと用途間転用現行の水利用の実態や渇水に対する安全度(利水安全度)を踏まえるとともに、水環境維持・改善のための新たな水需要等を含め、水利権の見直し、用途間転用等の水利用の合理化に努める。	「農業用水の水利権見直しに当たっては、地域の環境機能に配慮する」とは具体的にどうするのか、明らかになってください。
22	中	下7	(4) 水需要の抑制 利水者、自治体等関係機関、住民と連携して、水需要を抑制するための具体的方策について検討する。	「水需要を抑制するための具体的方策」とはどのようなものを想定しているか、明らかにしてください。

ページ	欄	行	説明資料(第1稿)の文章	滋賀県の意見
22	中	下7	(4) 水需要の抑制、利水者、自治体等関係機関、住民と連携して、水需要を抑制するための具体的な方策について検討する。	下流の水利用においては、特に渇水時において、安易に琵琶湖に依存することなく、ダム統合管理、水使用の節水合理化、再利用等総合的・効率的な対策を推進してください。
22	右	5	(2) 利水者間の用途転用を行うにあたっては、少雨化傾向等による現状の利水安全度評価を踏まえて行われるよう関係機関との連絡調整を実施 ○大阪臨海工業用水道 ○大阪府営工業用水道 ○尼崎市営工業用水道	「○大阪臨海工業」以下、3事業のみが挙げられているが、その根拠、その内容を明らかにしてください。
22	右	9	(3) 農業用水の慣行水利権について、水利用実態把握、法定化の促進	「農業用水の慣行水利権について、水利用実態把握、法定化の促進」とは、どのような内容が明らかにしてください。
22	右	下2	(5) 従来、渇水時のみ開催していた渇水対策会議を、平常時からの水利用に関する情報交換や水需要抑制についての具体的な方策を協議できる組織への改正の調整	「平常時からの水利用に関する情報交換や水需要抑制についての具体的な方法を協議できる組織」とはどのような内容か、明らかにしてください。
22	右	下2	(5) 従来、渇水時のみ開催していた渇水対策会議を、平常時からの水利用に関する情報交換や水需要抑制についての具体的な方策を協議できる組織への改正の調整 [関連] 5.3.1 洪水(1) 破壊による被害の回避・軽減 1) 情報伝達、避難体制の整備等 ③洪水情報伝達・情報の提供 沿川に河川情報表示盤沿川に河川情報表示盤を設置	下流における水利用の節水合理化等のため、「河川情報表示盤」(5.3.1(1)③、治水P11)と合わせて、沿川のみならず需要者の目に触れやすい所(大阪駅前など)に、琵琶湖やダムの貯水量状況を表示する装置を設置してはどうか。
23	左	30	「(滋賀県条例第52号)」	「(平成14年滋賀県条例第52号)」に修正
23	左	30	「規定の中で2サイクルエンジンの動力船を使用禁止している。」	「規定の中で従来型の2サイクルエンジンの動力船を平成18年4月から使用禁止する。」に修正
23	左	30	「また、航行規制については、上記条例と現行条例の「滋賀県琵琶湖等水上安全条例」(昭和30年滋賀県条例第55号)等により、今後どの範囲にするのかなど細部の調整を図っている。」	「また、航行規制については、上記条例により、騒音防止の観点から航行規制水域が指定され、現行条例の「滋賀県琵琶湖等水上安全条例」(昭和30年滋賀県条例第55号)等による航行規制と併せて、湖面の適正な利用を図っている。」に修正
23	右	13	「(滋賀県条例第52号)」	「(平成14年滋賀県条例第52号)」に修正
23	中	下5	水上オートバイ、プレジャーボート等水面利用が多様化することで秩序ある利用が必要とされる箇所については、水面利用協議会等の組織を活用して船舶等が守るべき通航方法及び適用区域を指定し規制することで、水面利用の適正化を図る。	「通航方法及び適用区域を指定し規制する」とは、どのような法的根拠で行うのか、明らかにしてください。
23	中	下4	瀬田川では、水面利用に伴う施設のあり方について、地元住民や市民組織と調整を図る。	「地元住民や市民組織と調整」とあるが、滋賀県との十分協議してください。
23	右	13	(1) 水面の利用に関しては、秩序ある利用を実現するため、既存の淀川水面利用協議会等の組織を活用して以下の利用ルールの策定及び規制の実施、検討 1) 水上オートバイの利用規制 ②滋賀県域の瀬田川では、「滋賀県琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例」(滋賀県条例第52号)との連携を図り、利用規制を検討し、規制区域を設定	どのような利用規制を想定しているか、明らかにしてください。 また、「滋賀県域の瀬田川」が河川管理区分としての瀬田川(管理区分境界～洗堰)を指している場合、滋賀県の条例と重複するため、特に滋賀県と十分調整してください。
23	右	下4	(2) 瀬田川では、学識経験者、沿川自治体等関係機関や地域住民等からなる瀬田川水辺利用者協議会(仮称)を設置し、既存の棧橋・係留施設の集約・共有化を検討	「瀬田川水辺利用者協議会(仮称)」とはどのようなものか、明らかにしてください。

ページ	機	行	説明資料(第1稿)の文章	滋賀県の意見
24	中	4	(1)利用 河川敷は河川特有の空間であり、周辺環境・地域性を考慮し、その特性を損なわないで、「川でなければできない利用・川に活かされた利用」という観点から、現状の利用形態を見直し、グラウンド等のスポーツ施設のように、本来河川敷以外で利用するものについては、縮小していくことを基本とする。	「川でなければできない利用・川に活かされた利用」という観点は具体的にどのようなものか明らかにしてください。これは、琵琶湖の湖岸緑地の場合にも適用されるのか、明らかにしてください。
24	右	6	(1) 河川敷地占用許可施設 1)ゴルフ場、公園等占用施設 占用施設の新設及び更新の許可にあたっては、周辺環境・地域性に考慮しつつも、川らしい自然環境を保全・再生することを重視し、学識経験者、沿川自治体等関係機関や地域住民等からなる河川利用委員会(仮称)を設置したうえ広く意見を聴き、個々の案件毎に判断 ① 地域毎に河川利用委員会(仮称)を設置 ○ 設置単位 川 瀬田	「河川利用委員会(仮称)」とは、どのようなものか、明らかにしてください。
26	中	下から 12	できるだけ自然流況に近い流量が流れるように、………水位変動や攪乱の増大等を図るための検討を行う。	河川流量を確保・設定する場合には、関係利水者(既得権者)が負担を被らないよう十分調整することが必要です。
26	左	1	2.5 ダム	淀川水系河川整備計画の策定にあたっては、「既存の計画にとらわれることなく、柔軟に見直しを行う」とされていますが、琵琶湖総合開発計画、淀川水系における水資源開発基本計画等、既計画等の内容を十分ふまえ、また、これらの策定にあたって、行政が説明を行い地元が合意し協力してきた経緯から、これらの計画について少なからず生じている行政責任を十分踏まえてください。
28	中	11	4. 6. 1 ダム計画の方針 ○ 淀川水系の特性に鑑み、特に以下の事項について留意する。・琵琶湖における急速な水位低下が生態系に及ぼす影響・狭窄部等の開削は当面実施しないことによる狭窄部上流部の当面の浸水被害軽減・近年顕著している温水に対する安全度の確保・既存ダム群の再編成	4項目の「特に留意する」事項それぞれが、丹生ダムや大戸川ダムをはじめ淀川水系の各ダムにどのように関連するか具体的に明らかにしてください。
28	中	11	4. 6. 1 ダム計画の方針 ○ 淀川水系の特性に鑑み、特に以下の事項について留意する。 ・琵琶湖における急速な水位低下が生態系に及ぼす影響	「特に留意する」事項として、「琵琶湖における急速な水位低下が生態系に及ぼす影響」があるが、琵琶湖が他のダムと違い、周囲に多くの生活と産業があり、水位の状況およびその変動の状況が地域社会および自然環境等と密接に関わっていることを踏まえ、「琵琶湖水位やその変動が住民生活や産業活動、生態系・自然景観等に及ぼす影響」と記述してください。
26	中	13	4. 6. 1 ダム計画の方針○ 治水、利水面からダムの効用は大きい。しかし水没を伴い、河川環境を大きく改変することも事実である。○ 他に経済的にも実行可能で有効な方法がない場合において、ダム建設に伴う社会環境、自然環境への影響について、その軽減策も含め、他の河川事業にもまして、より慎重に検討した上で、妥当と判断される場合に実施する。○ 淀川水系の特性に鑑み、特に以下の事項について留意する。・琵琶湖における急速な水位低下が生態系に及ぼす影響・狭窄部等の開削は当面実施しないことによる狭窄部上流部の当面の浸水被害軽減	ダム計画の方針として、「狭窄部等の開削は当面実施しないことによる浸水被害軽減」とは、どのようなことか、明らかにしてください。 特に瀬田川については、どのようなことか(ダムを琵琶湖と捉えるのか)明らかにしてください。
27	中	2	ダム計画の方針に基づき、各ダム毎に以下の事項を踏まえて計画の内容を見直す	ダムの計画の見直しについて、すでに事業が進んでいるところでは、すでに重大な影響を地域社会に与えて、また行政責任が生じていることを踏まえ、滋賀県や地元にとって、ダムに期待される効果、費用負担、水源対策などにおいて、いささかも支障のないようにしてください。
27	中	4	(1)大戸川ダム1) 大戸川等における洪水被害の軽減を図る。2) 利水について、水需要を精査、確認する。3) その上で、必要に応じて他ダムとの容量再編を検討する。 (4)丹生ダム1) 滋賀県と調整し姉川の洪水被害の軽減を図る。2) 琵琶湖における急速な水位低下が生態系に及ぼす影響を軽減するための容量の確保を検討する。3) 利水について、水需要を精査、確認する。	丹生ダム、大戸川ダムについて、見直しがあげられているが、これらは本県の治水などの観点から必要なものであり、その予定通りの推進を図ってください。
27	中	7	(1)大戸川ダム 1) 大戸川等における洪水被害の軽減を図る。2) 利水について、水需要を精査、確認する。3) その上で、必要に応じて他ダムとの容量再編を検討する。 (5)余野川ダム1) 猪名川における洪水被害の軽減を図る。2) 利水について、水需要を精査、確認する。3) その上で、必要に応じて他ダムとの容量再編を検討する。	「大戸川ダム」「余野川ダム」の「容量再編の検討」とはなにか、これらは残した上で他のダムの容量をもってくるという意味か、この記載がない「天ヶ瀬ダム再開発」「川上ダム」「丹生ダム」との違いはなにか、明らかにしてください。
27	中	11	(2)天ヶ瀬ダム再開発1) 琵琶湖周辺等の洪水被害の軽減を図る。放流能力の増強に当たっては既存施設の有効利用を検討する。2) 利水について、水需要を精査、確認する。	天ヶ瀬ダムの「既存施設の有効利用」とはなにか、明らかにしてください。 また、「既存施設の改造」(5-3-1(2)1)-2②(治水14上11)との関連を明らかにしてください。
27	中	下7	(4)丹生ダム 2) 琵琶湖における急速な水位低下が生態系に及ぼす影響を軽減するための容量の確保を検討する。	丹生ダムに関し、「琵琶湖における急速な水位低下が生態系に及ぼす影響を軽減するための容量の確保の検討」とされていますが、その内容は定かではないものの、これに関する本県の考え方は次のとおりです。 ①異常洪水対策のための容量確保の目的は、新たに議論されている「琵琶湖の生態系保全」だけではなく、従前どおり、ダムの統合管理が行われている淀川水系全体の上水道・工業用水の給水制限の軽減とともに、河川環境の悪化を防止することにあるべきこと。 ②治水とあわせ、こうした異常洪水対策のための容量を確保する丹生ダムは、淀川水系全体にとって従前どおり必要であること。 ③このため、その費用負担についても、従前どおりとすること。

ページ	欄	行	説明資料(第1稿)の文章	滋賀県の意見
27	右	下2	(なお、上記ダム計画内容の見直しについてはできるだけ早期に完了し、河川整備計画原案に反映させる予定である。)	「上記ダム計画内容の見直しについては、できるだけ早期完了し、河川整備計画原案に反映させる予定である」とされているが、原案提出の時期と方法、流域委員会の会議との関連、そのための利水者の確認方法(日程、内容)はどのような予定か、明らかにしてください。